

TEEP

進化型実務家教員
養成プログラム

NEWS LETTER

VOL.49

TOPICS

文部科学省「リカレント教育エコシステム構築支援事業」に 名古屋市立大学が採択されました！

生涯にわたって教育や労働等の諸活動を行う概念として生まれた「リカレント教育」。

生産年齢人口の減少が定着し、地方創生が求められる日本では、地域産業との連携を図り、地域の人材ニーズに応えるリカレント教育が求められるようになってきました。大学は、それぞれの強みを生かしたプログラムの提供が期待されています。

係る背景から、文部科学省は、令和6年度補正予算において、「リカレント教育エコシステム構築支援事業」を計上し、公募を行っていました。これは、「産・学・官・金」が連携して、経営者を含む地域の人材ニーズを踏まえた教育プログラムを開発・提供するリカレント教育プラットフォーム等の構築を図ることを目的としたものです。

名古屋市立大学はこの公募に申請していたところ、この度、令和7年6月12日付けで採択されました。今後、地方創生に資する地域単位の産学官金連携プラットフォームの構築を目指します。

なお、同じ文部科学省の事業として、令和元年度から5年間実施してきた「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」は、進化型実務家教員養成プログラム(TEEP)事業としてこれからも継続して参ります。



【図:文部科学省HPより引用】

教員メッセージ

TEEP専門コース(減災・医療) で学んでみませんか



減災・医療コースは、災害や健康問題に立ち向かうための実践的な知識とスキルを提供します。

基本コースで問題解決力を学んだ後に、災害医療や救急医療を専門家から学び、実際の災害現場でのシミュレーションやフィールドワークを通じて、理論だけでなく実践力を身につけることを目指しています。

修了生の中には、所属組織で活躍し、地域社会の健康と安全を守る重要な役割を果たし、教育を担当する人材が出てきています。次世代を担う皆さん、減災・医療コースで学び、更に社会に貢献する準備をしましょう。

(医学研究科 教授 笹野 寛)

TEEP \NOW/

みなさん、こんにちは！

2025年度が始まり、早2か月がたちました。TEEP基本コースには、実務者として多くの経験を積んだ多才な面々を新たに9名、迎えることができました。

専門コースには、4月から経営実務、まちづくり、減災・医療コース、スポーツマネジメントコースで9名の方々が受講されています。

後期の専門コースについても、現在募集手続き中で、新たな仲間を迎えるべく準備を進めています。

現場のリアルを教育へ ～救急救命士が見つめる「キャリアの光と影」～



現在は救急救命士として現場の第一線で活動する傍ら、名古屋市立大学大学院医学研究科で研究に取り組んでいます。昨年度からは主に学部1年生を対象とした「キャリアデザイン（実践編）」の講師を務めています。

講義では私自身の救急救命士としての経験や、海外での救急救助活動、大学院での研究活動といったキャリアパスを提示しながら、学生たちが自身のキャリアを具体的にイメージし、言語化する力を育むことを目指しています。

救急救命士は社会の裏方であり、現場では社会の厳しさや理不尽さを目の当たりにすることも少なくありません。人生においては、思いもよらず躓いてしまう時もあるでしょう。そのような不測の事態を事前に想像し、心の準備をしておくことは、ワークキャリアを歩む上で小さくない備えになると考えています。講義では、困難を乗り越え「一皮むけた経

験」といった話に加え、そうした実体験から得た教訓も交えつつ、医療現場でのコミュニケーションスキル（SPIKESモデル）、自動車の運転に例えた危険感受性、「ジョハリの窓」による自己分析も取り入れ、学生が主体的に将来を考えるきっかけ作りを意識し構成しました。

講義を通じて、学生たちが頭を捻りながら自身の将来について学友と語る姿に触れることは、私にとって大きな喜びであり、やりがいを感じる瞬間です。キャリアの光だけでなく影の部分も伝え、困難に立ち向かう力を養うことの重要性を、TEEPで培われた実務家教員としての視点から問い続けていきたいと考えています。TEEPで学ぶ皆様、そしてこれから学ぼうとされている皆様も、ぜひご自身の経験を社会に還元し、次の世代を育成するという新たなキャリアに挑戦してみたいはいかがでしょうか。

（東海市消防本部 木下 拓也）

地域活性学会 第17回研究大会のご案内

※対面形式のみ



【日 程】2025年9月6日(土)・7日(日)

※エクスカージョン：9月5日(金)・8日(月)

【会 場】島根県立大学 浜田キャンパス講堂、研究棟等
(島根県浜田市野原町2433-2)

【テーマ】「過疎地における地域活性化～地域と自治体の共創～」

【共 催】地域活性学会、島根県立大学、島根県浜田市

【テーマの趣旨】

1970年の過疎法制定以来、人口減少と高齢化は進展し、地域経済やコミュニティの維持が困難な状況となり、各自治体で様々な地域活性化の試みが行われてきました。

このたび、過疎法の制定に貢献し、過疎発祥の地と言われた美濃郡匹見町を含む島根県で現代の過疎の実態と自治体の取組み、担い手育成について探求していきます。

お知らせ

文部科学省では、大学等が提供する社会人向けプログラム(リカレント教育プログラム)の情報を掲げるポータルサイト「マナパス～社会人の大学等での学びを応援するサイト」を運営しています。

リカレント教育プログラムとして、社会人向けプログラムであるTEEPも掲載されていますので是非ご覧ください。

(<https://manapass.jp><<https://manapass.jp/>>)

公募情報

ピックアップ

- 尚絅学院大学(宮城県)
(特別支援教育分野)実務家教員
教授の公募
- グロービス経営大学院(東京都)
実務家教員 経営学(MBA)教員